

# 各団体の総会

## 支部活動方針示す

JIA関東甲信越支部

日本建築家協会(JIA)

の関東甲信越支部(藤沼傑支部長)は21日、東京・神宮前の建築家会館で通常総会を開き、2019年度の活動方針や予算を報告した。

総会後の懇親会であいさつした藤沼支部長は、「各支部が活動を維持発展させていくための方針を示すこ



とができた。会員一丸で取り組んでほしい」と呼び掛けた。写真。

本年度は、建築士事務所が対象となる業務報酬基準(国土交通省告示98号)の運用に向けた周知活動や地域支部による災害対策、市民相談会などを展開する。

## 信頼される活動重視

JIA関東甲信越

日本建築家協会(JIA)関東甲信越支部(藤沼傑会長)は、東京都渋谷区の建築家会館で2019年度通常総会を開いた。社会への発信、会員サービスの向上、支部・地域会を中心とする活動の推進と連係など「社会に信頼されるJIA」として継続性・持続性を重視する活動方針を決めた。



藤沼支部長は、「公益社団法人として活動の原資を自ら調達することも必要だ。企業がCSR(企業の社会的責任)活動を展開する

のにもっともふさわしい団体として、社会に発信していこう」とあいさつした。写真。

19年度活動方針・計画には、業務報酬基準の告示98号の適正な運用や、公共工事における設計者選定支援、建築関連法規見直しと自治体への政策提言のほか、若手とシニアの交流・議論の活性化、東京都・首都圏を対象とする広域活動基盤の整備などを盛り込んだ。

(5・21)

建設通信 5/23